

調査研究及び情報提供事業等に必要な経費

情報センター事業費

1. 催し等事業費

- (1) 国内連携促進

2. 文化資料事業費

- (1) 広報（情報センター）
- (2) 年次報告
- (3) ウェブサイト・メールマガジン

3. 調査研究費

- (1) JFIC事業
- (2) 国際交流顕彰事業（基金賞）
- (3) 国際交流顕彰事業（地球市民賞）

4. その他

- (1) 後援名義の付与（情報センター）

情報センター事業費

1. 催し等事業費 / (1) 国内連携促進

国内の国際文化交流活動の振興のための情報提供、セミナー開催及び国際文化交流に関する相談窓口業務をおこなう。

合計額 2,750,690 円

	事業名	期間	事業内容
1	ウェブサイト「AIR-J」の運営	2011.04.01 ~ 2012.03.31	日本国内のアーティスト・イン・レジデンス事業をデータベースとして取りまとめ、日英バイリンガルで情報の提供を行う

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (1) 広報(情報センター)

基本的なパンフレット等の広報資料作成、その他広報用資料の印刷作成および事業広報のための報告会等の実施。

合計額 15,598,004 円

	事業名	対象国	期間	事業内容
1	広報活動	全世界区分困難	2011.04.01 ~ 2012.03.31	プレスリリースなどを発信する広報・メディアリレーション業務を実施したほか、国際交流基金を国内外の方に紹介するパンフレットの制作（和文・英文）等を実施

情報センター事業費

2. 文化資料事業費 / (2) 年次報告

年度ごとに総括を報告する年報を発行する。

合計額 10,387,755 円

	事業名	事業内容
1	年報(和文・英文)	国際交流基金の2010年(平成22年度)事業に関する和文年報(2,500部)および英文年報作成(1,500部)の作成、送付
2	事業実績	平成20年度に国際交流基金が実施した事業の一覧を「平成20年度(2008年度)事業実績」(PDFファイル版)として作成。国際交流基金ウェブサイトで公開

2. 文化資料事業費 / (3) ウェブサイト・メールマガジン

国際交流基金事業の広報と国際交流に関する情報提供のため、ウェブサイト・メールマガジン等を運営する。

合計額 28,931,689 円

	事業名	事業内容
1	ホームページ	国際交流基金の事業に関する情報、公募事業の案内および申請書類、その他お知らせ等をインターネット上で提供 URL: http://www.jpff.go.jp/
2	ウェブマガジン	国際文化交流や国際交流基金事業に関する一般向けの読み物を、ウェブマガジン「をちこちMagazine」としてインターネットで提供。各号ごとにテーマを設定して特集を組み、国際交流基金事業をベースに対談や寄稿、報告等を掲載。平成23年度のテーマは、「いま、日本語でつながる。」(4月)「韓国を、想う。」(5月)「3.11後の社会」(6月)「地域を結ぶデザイン、世界をつなぐデザイン」(7月)「フェスティバル! (をちこちMagazine 1周年記念)」(8月)「ビエンナーレ/トリエンナーレ」(9月)「ドイツで北斎に出会う」(10月)「Japan Foundation Award 特別号 先駆者たちの横顔」(11月)「2012年クールジャパンの今」(12月)「時代と空間を越える文学」(2月)「3.11から1年 文化は社会に貢献出来たのか」(3月)
3	メルマガ	国際交流基金の事業に関する情報をメールマガジン(和・英)で配信
4	ブログ・ソーシャルメディア	国際交流基金の事業に関する告知や報告をブログ、ツイッターで公開 ブログ「地球を、開けよう。」 URL: http://d.hatena.ne.jp/japanfoundation/ Twitter URL: https://twitter.com/Japanfoundation Facebook URL: https://www.facebook.com/TheJapanfoundation
5	動画配信	ウェブサイト上で国際交流基金の実施した公演、展覧会、セミナー・シンポジウム等の映像ファイルを公開

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (1) JFIC事業

国際交流に関する情報の提供のため、ライブラリーとイベントスペースをそなえるJFIC（ジェイフィック）を運営する。

合計額 58,920,269 円

	事業名	期間	事業内容
1	JFICイベント	2011.04.01 ~ 2012.03.31	<p>イベント・スペース（JFIC）の利用促進と国際交流基金の情報発信を目的としたイベント・シリーズ</p> <p>第1回 記録映像で見るアジア現代演劇（2011.05.21~06.11）※東日本大震災の影響により、平成23年度事業に移行</p> <p>第2回 をちこちMagazineオープン収録 —3.11後の若者の行動から社会・文化を考える—（2011.05.26）</p> <p>第3回 公開対談「日本工房と国際文化振興会」（2011.06.18）</p> <p>第4回 国際交流基金×AAF世界ネットワーク・プロジェクト「文化で未来を切り開く—東北の心、アジアの声—」（2011.08.19）</p> <p>第5回 AIR！AIR！AIR！海外でステップアップを目指せ！〈ノウハウ編〉／3回シリーズの第2回（2011.11.15）</p> <p>第6回 AIR！AIR！AIR！海外でステップアップを目指せ！〈ノウハウ編〉／3回シリーズの第3回（2011.12.20）</p> <p>第7回 災害情報はどのように伝えられたか（2012.02.25）</p>

	事業名	蔵書数・利用状況	事業内容
2	図書館運営	<p>①所蔵資料合計：（視聴覚資料等を含む）：38,031点+428タイトル （内訳：図書 35,530点、視聴覚資料 684点、マイクロ資料 1,817点） （内訳：雑誌類 420タイトル、新聞 8紙）</p> <p>②利用者数（年間）：21,704名</p> <p>③貸出点数（年間）：2,803点</p> <p>④レファレンス件数（年間）：775件</p>	<p>国際交流基金の実施事業に関する出版物や映像資料、国際文化交流・文化政策に関する図書資料、外国語で書かれた日本関係図書・映像資料等を収集し、研究者や国際文化交流に関心のある幅広い利用者に情報資料を提供する図書館を運営</p>

3. 調査研究費 / (2) 国際交流顕彰事業(基金賞)

国際文化交流により、我が国に対する諸外国の理解あるいは日本人の対外理解を深め国際相互理解の促進に特に顕著な貢献があった個人、団体等に対しその功績を顕彰する。

合計額 30,374,154 円

	種別	受賞者	現職	授賞理由
1	国際交流基金賞 (文化芸術交流部門)	タンブッコ パーカッション アンサンブル	パーカッショングループ	メキシコ人打楽器奏者4名によるグループ。大太鼓や締太鼓など日本の楽器を多用し、世界各国にて質の高い日本の現代音楽及び日本人作曲家による作品を披露。箏、尺八、マリンバ、バイオリンなどの著名な日本人演奏家とのコラボレーションも積極的に行い、日本文化の理解及び促進に大きく貢献
2	国際交流基金賞 (日本語部門)	カイロ大学文学部日本語 日本文学科		中東・アフリカ地域で最初に発足した日本語・日本研究分野の重要拠点であり、長年にわたり日本語・日本文化研究者の育成及び日本語の普及活動に従事。文学から政治に至るまで、同学科の卒業生により数多くの日本に関する書籍・翻訳書が出版され、アラビア語圏における円滑かつ効果的な日本文化理解に大きく貢献
3	国際交流基金賞 (日本研究・知的交流部門)	オギュスタン・ベルク	フランス国立社会科学高等 研究院退任教授	日本各地の文化や風土に造詣が深く、独自の風土論を確立したフランスの著名な日本研究者。和辻哲郎『風土』に出会ったことを契機に、単なる自然環境ではない「風土」に関する画期的な研究に取り組む。地理学、哲学、人類学、そして日本研究の分野において大きく貢献

情報センター事業費

3. 調査研究費 / (3) 国際交流顕彰事業(地球市民賞)

国内各地で行われている地域に根ざした国際交流活動を振興するために、この分野で活躍している国内団体、個人を顕彰する。

合計額 16,991,655 円

	受賞者	都市	授賞理由
1	特定非営利活動法人かものはしプロジェクト	東京都渋谷区	カンボジアの児童教育や技術研修、人身売買阻止のための現地警察研修、コミュニティ・ビジネスによる自立支援などの活動を実践。活動資金を賄うためIT事業の受託で起業した点もアントレプレナー・モデルとして評価
2	特定非営利活動法人ブラジル友の会	岐阜県美濃加茂市	日本在住のブラジル人が直面する各種の困難や課題解決のための自助組織として設立された。日本での生活にまつわる相談や情報提供、地域の人材育成、就労支援、起業家支援なども積極的に展開し、美濃加茂市から定住外国人支援センターの運営を受託するまでに発展
3	特定非営利活動法人鳥の劇場	鳥取県鳥取市	演劇がもつ力や、地域社会における演劇上演、劇場の新たな可能性を引き出すべく、国際共同制作を含めた現代劇の創作・上演、ワークショップやレクチャーなどを実施。また、演劇に限定しない多様な芸術活動で地域のアート・センターとしての役割も果たす
4	陸前高田市国際交流協会 (理事長特別賞)	岩手県陸前高田市	日本語教室や国際文化交流イベントを通じて、地域の国際化に貢献。東日本大震災後は、行政と連携し、安否確認を始めとした生活相談、物資調達を通じて被災した在住外国人を支援
5	国際交流協会 ともだちin名取 (理事長特別賞)	宮城県名取市	在住外国人と市民が交流を通じ、「地球市民」として共生することを目指して活動。外国人が地域で孤立せず社会参画できるように支援する様々な取り組みに加え、東日本大震災後は、名取市の避難所の運営も支援
6	特定非営利活動法人 ザ・ピープル (理事長特別賞)	福島県いわき市	各地域の問題を、居住者自身が考え、その解決のため主体的に行動することを目的として設立。古着のリサイクルを通じて海外の恵まれない地域の自立支援や資源のリユースを実施

情報センター事業費

4. その他 / (1) 後援名義の付与(情報センター)

一定の要件を満たす国際交流事業に対して、国際交流基金の後援名義の使用を承認し、当該事業の実施を支援する。

合計額 0 円

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
1	第23回アジア太平洋子ども会議・イン福岡 (APCC)	日本 アジア地域区分困難 米国 フランス	特定非営利活動法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡	2010.10.01 ~ 2011.09.30	アジア太平洋諸国・地域の子供たちが交流体験を通してお互いの国や地域、文化について考える機会を提供し、相互理解を促進、異文化体験を通じて、国際感覚あふれる青少年を育成する事業。 【派遣事業】では春休み期間中に、日本の子供たちを海外（モンゴル、インドネシア、シンガポール、スリランカ、モルディブ、ハワイ、ニューカレドニア）に派遣し、現地でのホームステイや学校訪問などを通じて生活文化を直に体験させ 【招へい事業】は、夏休み期間中に、アジア太平洋地域から「子ども大使」を招へいし、福岡でホームステイや交流キャンプ等を行うことで、海外の子供たちに日本に対する理解を深めてもらうと同時に、未来を担う子供たちにアジア太平洋の文化の多様性と異文化理解の大切さを実感させることを目的として実施
2	kids' ISO14000 プログラムの普及と国際交流	日本 フランス	特定非営利活動法人国際芸術技術協力機構	2011.07.01 ~ 2012.03.31	環境をテーマに、「現状分析、目標設定、実行、結果の振り返り（PDCA）」というプロセスを体験させることにより、子供達に問題解決能力をつけさせ、同時にプログラムを実施した海外の子供達とのネットワークを構築することで、子供同士が国際理解を深める機会を提供
3	第52回海外日系人大会	日本	海外日系人協会	2011.10.26 ~ 2011.10.28	海外在住日系人が母国で一堂に会し、居住国の実情を日本に知らせ、併せて国際交流、国際理解、国際親善を深め、世界の対日理解の促進と強化を図る事業
4	2011東アジア児童青少年舞台芸術フェスティバル	日本	日本国際児童青少年舞台芸術フェスティバル実行委員会	2011.07.22 ~ 2011.07.29	東アジアをはじめ海外の優れたアーティストに出会い、生の舞台芸術を体験することにより、子供たちの国際的理解・感性を養う。更に日本文化の理解・習得も支援。舞台芸術を通して21世紀を担う子供たちの創造・表現力を培う事業
5	世界コスプレサミット2011	日本	世界コスプレサミット実行委員会	2011.08.05 ~ 2011.08.08	常滑市での撮影会(8月5日)、コスプレパレード、日本代表選考会(8月6日)、世界コスプレチャンピオンシップ(8月7日)、国際シンポジウム、コスプレ撮影会inお菓子の城(8月8日)等を通じて、新しい国際交流の創造、また愛知県への海外旅行者の増加を図る事業
6	第14回京都東山文化振興会 in福井吉崎御坊建立記念日「蓮如イスマ」文化講演会	日本	本願寺文化興隆財団	2011.07.27	日本人の精神の基底を築いた宗教家であり、思想家の蓮如上人の伝統文化が連綿と受け継がれる、あわら市にて、「蓮如イスマ」と名付けた上人の思想や精神を昂揚する講演とパネルディスカッションを開催。全国からの参加者とともに、地元在住の交換留学生や外国人労働者を招致し、北陸が育んだ文化を国内外へ発信し、日本文化の発展にも資する事業
7	丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2011	日本	丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば実行委員会	2011.09.03 ~ 2011.11.12	丹波地域からシューベルトのやさらかな音楽がこだまし、地域を越えて広く共感呼んだ前年度の「丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんば2010」の成果をふまえ、音楽を通じた地域交流・国際交流のなご一層の推進を図る事業
8	第6回中国語スピーチコンテスト	日本	立命館孔子学院	2011.09.30 ~ 2011.10.30	中国語教育の促進、中国文化の理解の促進及び奨学生派遣のための選考の機会として第6回中国語スピーチコンテストを開催。中国語学習者の持続的な努力を奨励し、中国語運用能力の一層の向上に寄与。本年は、高校生以下の部はスピーチと漢詩暗誦、大学生を含む一般の部ではスピーチとその内容に関する質疑応答を実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
9	2011金沢工業大学・米国図書館・情報振興財団 図書館・情報科学に関する国際ラウンドテーブル会議	日本	金沢工業大学	2011.07.07 ~ 2011.07.08	電子出版物の閲覧環境の急速な充実と、これに伴った図書や雑誌、新聞などの「電子出版」の拡充が教育・研究に及ぼしている現状を先端的な事例と共に紹介し、意見交換・討論を実施
10	第7回武蔵野市国際オルガンコンクール	日本	武蔵野市国際オルガンコンクール組織委員会	2011.08.01 ~ 2012.09.30	広く日本及び海外の優秀なオルガン奏者を見出し、その育成と国際交流の進展に寄与することを目的とするパイプオルガンの国際コンクール
11	第24回UBEビエンナーレ(現代日本彫刻展)	日本	宇部市	2011.09.24 ~ 2011.11.13	UBEビエンナーレは、山口県宇部市で1961年(昭和36年)から行われている野外彫刻展。新人彫刻家の登竜門として、全国の彫刻家に認知され、新進・新鋭彫刻家の発掘に大きく寄与している。また、現在では、海外作家の応募も多数を占め、芸術における国際交流の役割も果たしている。本年度は、市制施行90周年・野外彫刻展50周年記念事業として実施。選考された実物制定指定作品20点から、入賞作品を選考、更に、実物制定指定作品を公開展示。広く県民・市民に対して彫刻鑑賞の機会を提供
12	第16回カナガワビエンナーレ国際児童画展	日本	青年海外協力協会	2011.07.02 ~ 2012.03.31	絵画を通じて児童の夢と想像力を育み、多文化共生社会の実現に向けて、お互いの生活や文化を理解しあうために、神奈川県内及び世界各地から児童画を募集し、展覧会を開催
13	第33回中学高校英語教員による英語弁論大会	日本	国際教育振興会	2011.11.20	学校教育を通じて「英語の使える日本人」を育成し、小学校での英語教育の導入、高校での英語授業を英語で行う新方針に対応し、現場で教員に英語を発信するための実力開示の場を提供することなどを目的に、中学・高校教員による英語弁論大会を実施
14	全香港日本事情クイズ大会2011	中国	香港日本文化協會	2011.10.23	香港日本語学習者の日本に対する理解と関心を深め、学習意欲を高めることを目的に、日本事情に関するクイズ大会を実施
15	36th Japanese Language Speech Contest	中国	香港日本文化協會	2011.07.17	香港の日本語学習者の日本語能力を高め、香港市民の日本語学習に対する意識と関心を高めることを目的に、スピーチコンテストを実施する事業に対して後援名義を付与
16	ぎふアジア映画祭実行委員会	日本	ぎふアジア映画祭実行委員会	2011.08.20 ~ 2011.12.25	アジア各国の映画を上映することで、その国の文化風習などに触れる機会を提供し、アジア文化交流を深める場とする。岐阜文化センター、岐阜市民会館、CINEXで上映
17	吉増剛造賞第3回高校生小論文コンテスト	日本	城西国際大学 国際人文学部国際文化学科	2011.08.22 ~ 2011.11.05	高校生の年代の若者に、国際的な問題や文化交流に目を向け、自分自身の考えを持ち、文章で表現・発信する力をつけてもらうことを目的として、「地球市民として生きる」をテーマに、小論文のコンテストを実施
18	在日留学生音楽コンクール	日本	財団法人 国際文化交流事業財団	2012.01.08	国内での在日留学生などに対する関心が高まり留学生と日本人の相互理解が深まることを目指し、また、留学生を通じて各国における日本人及び日本文化に対する理解が深まり、国際文化交流の推進に役立つことを願い、日本に滞在している留学生及び研修生を対象とした、歌唱・楽器演奏・舞踊のコンクールを実施
19	漆の発見(Re-discovery of Lacquer)	日本	韓国漆文化研究院	2011.11.01 ~ 2011.11.05	従来注目されてこなかった漆の実用性や漆の天然原材料としての未来価値性に焦点を当てたデザイン展。漆工芸及びデザイン分野において、漆の現代化を牽引している韓国と日本の漆芸作家やデザイナーの作品を集めて、「漆」という両国の伝統に根ざし、かつ未来志向的なデザインを紹介する事業

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
20	第48回全国国際教育研究大会 和歌山大会	日本	全国国際教育研究協議会	2011.08.18 ~ 2011.08.19	「つながりあい、学びあい、響きあい—近畿からつれもて世界へ—」を大会テーマに、第31回高校生英語弁論大会、第11回留学生日本語弁論大会を開催する事業に対して後援名義を付与
21	シンポジウム「神戸大学国際交流促進事業／北京外国語大学創立70周年記念事業—現代日本サブカルチャーをめぐる現代中国との対話—」	日本	神戸大学	2011.09.02	現代日本のサブカルチャー(マンガやアニメ等)については、世界中では大きな存在感を持つことが知られながら、これまで学問的な対象としては深められてこなかった。神戸大学と北京外国語大学は、神戸大学に設立されている「日本サブカルチャー研究会」の研究資源を活用し、北京外国語大学創立70周年事業の一環として、現代中国の若者と現代日本文化をめぐる学問的対話を深める目的でシンポジウムを開催
22	東日本大震災支援チャリティーコンサート「ウィーンフィルのプリンシパル ワルター・アウアーと仲間たち」	日本	特定非営利法人 自然生クラブ	2011.08.27	障害者と共に芸術活動を行っている、自然生クラブ(じねんじょクラブ)の活動に共鳴し、同クラブとの交流を続けているウィーンフィルハーモニーの首席フルート奏者ワルター・アウアーが、賛同する日本人音楽家と共に、東日本大震災支援チャリティーコンサートを開催
23	第18回多文化間精神医学会学術総会 市民公開シンポジウム	日本	多文化間精神医学会学術総会	2011.09.30 ~ 2011.10.01	多文化間精神医学会では東日本大震災発生後、被災した外国人、その支援者へのメンタルヘルス支援として「多文化災害支援委員会」を立ち上げ、情報の収集、情報の提供、支援提供の三本柱で活動を行っている。被災地の外国人からの報告等を中心に、メンタルヘルスの側面からの国際支援、交流を目的とした取り組みを市民公開シンポジウムで発表する事業
24	第16回海外高校生による日本語スピーチコンテスト	日本	特定非営利活動法人 エデュケーション・ガーディアンシップ・グループ	2011.07.22 ~ 2011.07.31	海外12カ国(国と地域)で日本語を学習している高校生が出場する、日本語のスピーチコンテスト国際大会。コンテスト出場者は、日本滞在中に、日本の青少年との交流活動を通じて、それぞれの国や文化、お互いのことを理解し合い、友情を育む「異文化交流プログラム」や、コンテスト出場者と日本の青少年が日本語を用いながら、現代社会の様々な問題を青少年の立場から意見交換する「日本語イマージョンプログラム」にも参加
25	陰陽師朗読コンサート	英国	オープンミュージック	2011.09.23	国際交流基金の助成を受けて、2010年秋に夢枕獏(作家)がフランスで講演会「陰陽師を通じてみる日本」を開催したのに続き、本年はKy(仲野麻紀、ヤン・ピタール)が来日して日本で朗読コンサートを実施
26	吉左衛門X Audela 言語の彼方へ 楽吉左衛門フランスでの作陶／花入+Bruno Mathon ドローイング	日本	公益財団法人 佐川美術館	2011.08.27 ~ 2012.04.08	楽吉左衛門は2007年以降、4年間にわたり毎夏フランス南西部のルビニャック村に滞在し、茶碗、花入、水指など多くの作品を制作。その中から花入を中心に選定、パリ在住の洋画家ブルーノ・マトン(Bruno Mathon)の絵画作品と共に展覧する事業を実施
27	世界のおりがみ展「護ろう世界遺産」企画展	日本	日本折紙協会	2011.08.11 ~ 2011.08.17	日本の伝統大衆文化であるおりがみの普及を目的に、日本折紙協会の全国支部が作成したジオラマ作品や国内外の個人作品を一堂に展示し、一枚の紙が織りなす芸術的作品を展覧

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
28	ワールド・コロボ・フェスタ2011	日本	ワールド・コロボ・フェスタ実行委員会	2011.10.22 ~ 2011.10.23	国際交流、国際協力、多文化共生の重要性を学ぶことで、持続可能な社会の実現を目指し、中部地域を発信地とする「学び、考え、行動する場」を市民、NGO・NPO、企業、行政が協力して作り上げることを目的に、国際機関やNPO・NGO、主催者による国際交流、国際協力、多文化共生など多種多様なテーマでステージやブースを展開する「世界交流祭」を開催
29	第14回京都国際学生映画祭 (KISFVF2011)	日本	大学コンソーシアム京都	2011.11.19 ~ 2011.11.26	世界各国の学生映画を募集し、入選した作品を上映。また、国内外から入選した学生監督やプロとして第一線で活躍している映画関係者を招へいし、国際的な映画制作の場を設ける事業
30	渋沢栄一賞実施事業	日本	埼玉県	2011.08.01 ~ 2012.03.31	渋沢栄一の業績をたたえ、渋沢栄一の精神を今に受け継ぐ健全な企業活動を営むとともに、国際交流・協力などの分野で社会貢献活動が顕著な全国の企業経営者に渋沢栄一賞を贈る事業
31	第24回 JAPAN TENT—世界留学生交流・いしかわ2011—	日本	ジャパン・テント開催委員会	2011.08.18 ~ 2011.08.24	国際社会の明日を担う外国人留学生を石川県に招致し、県民との交流の中から日本の文化や社会、生活を肌で感じてもらい、真の日本と日本人を知ってもらえる場を提供する事業
32	第36回ジャパンウィーク 2011年 フランクフルト・アム・マイン	日本	国際親善協会	2011.11.05 ~ 2011.11.11	市民レベル、地域レベルでの文化・スポーツをはじめとする多岐にわたる交流を通じて、日本と開催国との間の友好親善、相互理解を促進し、更に両国の地域社会づくりに貢献する事業
33	第24回東京国際映画祭	日本	公益財団法人ユニジャパン	2011.10.22 ~ 2011.10.30	国際映画製作者連盟(International Federation of Film Producers Associations) 公認の国際映画祭としてアジア最大規模の映画祭。映像コンテンツ分野における国際交流の促進や次代の映画界を担う才能の発掘と育成及び日本の映画・映像産業の振興と世界市場へ向けてのプレゼンスの発信等を目的に、毎年度開催。「コンペティション」部門、「アジアの風」部門、「日本映画・ある視点」部門、「特別招待作品」部門等の上映企画に加え、映画・映像に関連する多くのセミナーやシンポジウム等を実施
34	第15期日本インド学生会議	日本	日本インド学生会議	2011.09.10 ~ 2011.09.19	日本とインドにそれぞれ現存、伏在する問題、二国間における問題について議論する分科会を行うと共に、文化交流会と企業・NGOを訪問するフィールドワークを行うことで、日本とインドの学生の交流を図り、相互理解を深め、よりよい日印関係を築くきっかけを作り、社会に発信していく事業。今回の会議では、原子力を始め様々なエネルギー問題を取上げ、未来の創造について考え、検証
35	第13回語学留学生の祭典「進学・就職・国際フェア」	日本	日本語学校ネットワーク	2011.10.25	日本語の普及、日本語学校卒業後の進路紹介、国際交流及び日本理解の場を提供することを目的とし、大学・専門学校紹介のブース・企業ブース・各国文化紹介のブース等を設営し、国際交流の集いを開催
36	朴順雅 カヤグム リサイタルin東京	日本	有限会社ハン・コーポレーション	2012.01.13	日本で育ち、現在韓国を拠点に日本、ヨーロッパなどで多彩な演奏活動を展開している朴順雅のカヤグム(伽耶琴)リサイタル
37	ウズベキスタン日本学生学術フォーラム2011	日本	筑波大学	2011.10.29 ~ 2011.10.30	筑波大学国際化促進事業の一環として、ウズベキスタンの留学生と日本人学生との知的学術交流を図り、学生たちの知的好奇心を一層高めるとともに、国際的信頼醸成の大切さを直に体感できる場を実現する。また、公開講演会などを開催することで、一般市民にもウズベキスタン、中央アジア諸国を知る機会を提供し、草の根のレベルでの交流への足掛かりをつくる事業

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
38	国際都市新宿 踊りの祭典2011	日本	新宿未来創造財団	2011. 11. 05	「国際都市新宿」「文化芸術創造のまち新宿」をアピールするために、世界の民族舞踊の紹介を中心に、各国の名産品や物産品・歴史・文化等を紹介する事業。第3回を迎える本イベントでは、民族舞踊を中心に音楽演奏や出店ブースを大幅に増やし、規模を拡大
39	アース・ビジョン 第20回地球環境映像祭	日本	アース・ビジョン組織委員会	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 18	1992年にアジア初の国際環境映像祭「アース・ビジョン第1回地球環境映像祭」を開催。以来、アジア・オセアニア・ポリネシア地域の作品を公募し上映。環境映像の普及と制作者に作品発表の場の提供及び交流・支援を目的としてきた。第14回の映像祭以降、新たに「子どものための環境映像部門」を設けて全世界から作品を募集し、優秀作品を紹介することで、次世代を担う子ども、若者が、環境映像を通して地球環境や世界の社会、文化に触れ、考える機会を広げることを目指す
40	第12回NHKアジア・フィルム・フェスティバル	日本	日本放送協会(NHK)	2011. 10. 15 ~ 2011. 10. 19	アジア各国の新進気鋭の監督が制作した最新の映画から優れた作品を精選して上映。各国の文化や歴史に対する理解を深めるために識者の解説も交え、アジアの映像文化の振興に寄与することを目的に実施する映画祭。1995年に映画生誕100年、放送開始70周年の記念事業としてスタートし、隔年で実施、2006年からは毎年開催となる。本年は12回目の開催
41	日本現代書 チェコ・ボヘミア国際交流展	日本	東洋書人連合	2011. 10. 19 ~ 2011. 10. 22	「日本の現代書を世界の芸術に」という目的で、チェコで書展を開き、会場で席書揮毫のデモンストレーションや講演会を行い、現地の人々と意思疎通をはかると同時に現代の日本、日本の芸術文化の啓蒙宣伝と国際文化交流並びに国際親善に努める事業
42	第1回アジア民族服飾文化展	日本	日本インドネシア服飾文化協会	2011. 09. 08 ~ 2011. 09. 12	東アジア・東南アジア諸民族の服飾の展示、ファッション・ショーの開催、講演会、シンポジウム等を行い、アジアの伝統服飾を通して諸民族のアイデンティティの現状を考える事業
43	「障害者週間」東欧音楽家支援 国際親善交流特別演奏会	日本	日本音楽文化交流協会	2011. 11. 07 ~ 2012. 03. 26	毎年、世界各国の演奏家を日本に招へいし、国際親善交流とお互いの文化の発展向上を目標に開催。また、日頃演奏会を楽しむ機会の少ない視覚障害者や身体障害者、ボランティア団体・母子家庭・養護施設の子供たち、高齢者等を招待し、健常者と共に一流の音楽を堪能し文化の振興をはかるもので、社会貢献の一環として継続実施
44	文化遺産国際協力コンソーシアムシンポジウム「文化遺産を危機から救えー緊急保存の現場からー」	日本	文化遺産国際協力コンソーシアム	2011. 10. 16	我が国の文化遺産国際協力内容及び効果を国民に周知し、国際協力の重要性について国民の理解を促進する事業。今回は特に、被災し消滅の危機にある文化財の緊急支援について紹介。一般の人々に、文化遺産が直面している具体的な課題を理解し、支援の意味や重要性を考えてもらう事業
45	第33回国際学生シンポジウム運営委員会	日本	第34回国際学生シンポジウム運営委員会	2011. 12. 26 ~ 2011. 12. 28	世界で起こる諸問題に対して主体的に行動し、問題解決の原動力となる人材を育成するため、問題解決の契機となる議論の場を提供する事業。約200名の学生が9つの分科会に分かれ、3日間にわたってディスカッションを行い、最終日に報告会を開催
46	第35回福澤杯争奪全日本学生英語弁論大会	日本	慶應義塾大学英語會	2011. 10. 22	大学生の将来的な国際社会での活躍を視野に入れ、英語によるコミュニケーション能力の向上を目的に、全国の大学生を対象とした英語弁論大会を開催。事前に考えてきたテーマで行う7分間のスピーチと、その場で与えられたテーマについて3分間で行うスピーチの2種類の結果により、優勝者を決定

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
47	東京TVフォーラム	日本	社団法人 全日本テレビ番組製作社連盟	2011.12.12 ~ 2011.12.14	日本発のコンテンツ展開を促進していくために、東京TVフォーラムを開催。日本の課題について検討する「国際シンポジウム」、国際市場をリードしている国内外のプロデューサーを招へいしての「国際テレビ番組提案会議」「ピッチング・セッション」を実施。海外のコンテンツ・マーケットの実情を知るための「ワークショップ」も開催
48	2011日本・中国アニメ・フェスティバル／中国映画テレビ週間	日本	日中友好映画祭実行委員会	2011.10.22 ~ 2011.10.30	日中両国相互の理解と友好を深めることを目的に、東京国際映画祭の期間中の提携企画として、東京、札幌の2都市にて日中映画テレビ週間アニメ・フェスティバルを開催
49	第25回国際交流祭 in ブレーメン	ドイツ	株式会社NHK文化センター	2011.11.18 ~ 2011.11.20	民間の草の根による相互理解と友好親善を目的とした国際交流を図るため、日本文化を紹介する展示・実演や音楽や舞踏などの舞台公演を開催。今回は「日独交流150周年」という記念の年でもあり、開催地の特徴を生かしたメルヘン街道企画や現地カルチャーセンター講師・受講生と開催地の一般の人々との音楽祭や展示会を開催し文化の交流、友好を促進
50	ラ・フォル・ジュルネ・オ・ジャポン「熱狂の日」音楽祭2011－タイタンたち－	日本	株式会社東京国際フォーラム	2011.04.28 ~ 2011.05.05	クラシック音楽愛好者の裾野を広げ、素晴らしさをあらゆる人々で分かち合うことを目的に開催。特に、子供たちにクラシック音楽の素晴らしさと感動を伝えると同時に、海外と日本の音楽家たちの交流を通じて国際文化交流を促進し、更に、東京、日本の魅力を世界に発信することで、海外からの観光客誘致も図る。東京国際フォーラムと地元企業等が連携して音楽祭を開催。本年は、「タイタンたち」をテーマに後期ロマン派(1850～1950年)の巨人(タイタン)の作品を取り上げ、クラシック音楽祭を開催
51	平成23年度日本語教育能力検定試験	日本	日本国際教育支援協会	2011.10.23	日本語教員となるために学習している者、日本語教員として教育に携わっている者を対象として、日本語教育の実践につながる体系的な知識が基礎的な水準に達しているかどうか、また、同知識を状況に応じて関連づけ、多様な現場に対応する能力が基礎的な水準に達しているかどうかを検定する事業
52	第12回大阪国際音楽コンクール	日本	大阪国際音楽振興会	2011.04.01 ~ 2011.10.09	世界平和と相互理解に貢献することを希求し、関西で国際規模のコンクールを開催することにより、芸術、文化を発信するとともに、全世界へ羽ばたく数多くの若い音楽家を見出すことを目的とする事業。ピアノ、弦楽器を学ぶ小学3年生以上、管楽器・声楽を学ぶ中学生以上の者を対象とした音楽コンクール
53	第32回霧島国際音楽祭	日本	ジェスク音楽文化振興会	2011.07.22 ~ 2011.08.07	日本及びアジアの音楽家を目指す学生たちを対象とし、世界一流のアーティストを講師に招へいし、マスタークラスと演奏会を開催することにより、地域、日本国内ひいてはアジアの音楽文化の発展に資する事業
54	第7回香港中高生日本語スピーチコンテスト	中国	香港日本語教育研究会	2011.04.10	香港の中高生に日本語学習を奨励するために開催する日本語スピーチコンテスト。自由題の「スピーチの部」に加え、初級学習者の参加を促すために課題詩「暗誦の部」を設けて行う事業
55	第32回世界アマチュア囲碁選手権戦 島根大会	日本	公益財団法人 日本棋院	2011.05.26 ~ 2011.06.03	日本伝統文化である囲碁を通じて国際親善、国際交流を深め、世界平和に寄与することを目的とする事業。競技を通じて囲碁技術の向上や各国囲碁組織の強化発展を図る。71の国と地域から71名の代表選手が参加。スイスシステムによる個人対局、8回戦を行い、世界アマチュアナンバーワンを決定

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
56	「ふじのくに せ かい演劇祭2011」 (英題：Theatre Festival Shizuoka under Mt. Fuji 2011)	日本	財団法人 静岡市 舞台芸術センター (SPAC)	2011.06.04 ～ 2011.07.03	2011年から、従来「Shizuoka春の芸術祭」として行われてきたフェスティバルの名称を改め、「ふじのくにせかい演劇祭」として再スタート。静岡県の文化政策である「ふじのくに芸術回廊」と連携しながら、世界最先端の演劇、ダンス、ミュージカル、優れた古典芸能などを招へいし、静岡で世界中のアーティストが出会い、交流する、ダイナミックな「ふじのくにと世界の交流」の実現を理念として実施している事業
57	日本語教育学会シン ポジウム「活気 ある社会づくりと 日本語教育」	日本	(社)日本語教育学 会	2011.06.26	日本語教育は、外国人のみならず、日本人や日本社会にとっても身近で具体的な効果や長期的で広範な波及効果を生み出し、今まさに日本が必要とするものであるという観点で、専門家や経済人が議論。日本語教育政策の現状を踏まえ、長期的で包括的な視野に立った政策のあるべき姿について、この課題と真剣に向あってきた与野党の国会議員が議論を交わすシンポジウムに対して後援名義を付与
58	第6回中国日本語ス ピーチコンテスト	日本	株式会社日本経済 新聞社	2011.04.01 ～ 2011.07.25	日本語を学ぶ中国全土の大学生の中から、8カ所の地区予選を通過した16名を選抜、日本に招致して本選を開くとともに、日本の財政界の人々や大学生と交流を行う催し。中国人学生の日本語学習意欲を高めると同時に、日本人との交流を通じて、日本理解を深めてもらうことを目的とした事業
59	第7回ルーマニア国 際音楽コンクール	日本	日本ルーマニア音 楽協会	2011.08.24 ～ 2012.01.24	音楽を通じた国際交流と若手アーティストの演奏活動支援を目的として開催する国際音楽コンクール
60	アジア芸術家交流 展—京都からの出 発—	日本	アジア芸術家交流 会実行委員会	2011.06.04 ～ 2011.07.03	これまで芸術活動や研究を通じて対話を重ねてきたアジア5カ国のメンバーが中心となってアジアの芸術文化をつなぐネットワークを広げ、展覧会、シンポジウム、レジデンス、出版物等を通じて次世代へ継承することを目指す。日本発の芸術文化をアジアから世界へ広げ、次世代へと受け継ぐ交流展を行う事業
61	第37回全国語学教 育学会年次国際大 会	日本	全国語学教育学会	2011.11.18 ～ 2011.11.21	第二言語・外国語としての言語教育の理論と実践をさまざまな角度から考え、日本における言語教育の向上を図るため、国内外の語学教育関係者による講演、研究発表や教材の展示等を行う事業
62	文学賞「第十二回 蓮如賞」第2部記念 行事	日本	本願寺文化興隆財 団	2011.12.10	日本の精神文化・伝統文化を宗教、文学、思想、哲学、芸術などの面から多角的に論じて、その興隆を期すシンポジウム。混迷の世界情勢にこそ求められる日本の文化を、京都から世界へ伝えるべく、関西在住の外国人研究者を招へい
63	第18回陝西省大学 生日本語弁論大会 ／第8回日本語教育 セミナー	日本	全国日本学士会	2011.11.04 ～ 2011.11.07	中国・西北地域で日本語弁論大会を通じ日本語普及事業を実施。国際交流と日本語普及を目的に、西安の著名大学数校の学生代表者の参加を得て、陝西省政府との共催で実施。併せて前日に、派遣教授による日本語教育セミナーを開催し、西安における日本語教師の日本語研修も実施
64	第10回 全養協 フォーラム「日本 語教師の実践力一 現状を打破するス キルアップのため に！」	日本	全国日本語教師養 成協議会	2011.11.20	日本語教師のスキルアップを目的とした基調講演及びパネルトークの実施

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
65	桜美林学園創立90周年記念 「J.F. Oberlinとそのレガシー」—世界における教育思想の継承—	日本	桜美林学園	2011. 10. 29 ~ 2011. 11. 25	桜美林学園の前身である北京の崇貞学園創立から90周年を記念し、創立者の教育における精神的・思想的根源となっているJ.F. オペリンの理解を深めるため、記念展示「未来に満ちた物語」を開催。併せて、オペリンの名を持つ日米仏独の機関の代表者を集めて記念シンポジウム・パネルディスカッション「J.F. Oberlinとそのレガシー」を実施する事業
66	あーすフェスタかながわ2011	日本	あーすフェスタかながわ2011・2012実行委員会	2011. 11. 26 ~ 2011. 11. 27	地域社会と外国籍県民がより交流を深め、相互の協力関係を作り上げていくための機会として、外国籍県民やNGO等の企画・協力により、参加者が「多文化共生」や「国際理解」についてともに考え、ともに語らい、ともに楽しむ催しを開催
67	「大震災から未来へ」世界のポスター展	日本	日本国際ポスター美術館	2011. 10. 22 ~ 2011. 12. 22	東日本大震災に寄せる各国のアーティストのポスターを展示。被災地の一日も早い復興への願望と被災者への支援の気持ちを発信。世界で活躍するアーティスト32名(11カ国)から東日本大震災へ寄せられた作品48点を一挙展示。ホームページにも掲載し世界へ向けて情報発信
68	アサヒ・アート・フェスティバル(AAF)2011報告会	日本	アサヒ・アート・フェスティバル実行委員会	2011. 11. 19 ~ 2011. 11. 20	アサヒ・アート・フェスティバル2011(2011年6月18日~9月11日)に参加した全国26のアート・プロジェクト関係者が一堂に会し、各プロジェクトの成果を発表し、地域におけるアートの今後の課題と可能性についてディスカッションを行う事業。AAF10周年特別企画として開催した「AAF世界ネットワーク・プロジェクト」スタディーツアー(2011年8月実施、国際交流基金が共催)の被招へい者のうち、Kim Kang(韓国/LAB39・Centre for Art & Urban Society代表)及び Lew Pik-Svonn(マレーシア/Chow Kit Kitaプロジェクト・マネージャー)がゲスト参加し、海外のアーティストと交流
69	紛争地域から生まれた演劇シリーズ3 動乱と演劇	日本	国際演劇協会	2011. 12. 02 ~ 2011. 12. 04	国際演劇協会は、毎年、世界各国の一年間の動向をまとめた『国際演劇年鑑』を発行しており、その一環として、H21年度から「紛争地域に生まれた演劇」を特集企画し、リーディングやレクチャー・シンポジウムを開催している。H23年度は時代と体制が引き起こす社会の軋轢や、それが個人に与える過酷な現実を扱った作品のリーディング及びシンポジウムを開催
70	第5回21世紀ミュージアムサミット 「100人で語るミュージアムの未来—人々をつなぐミュージアムのこれから」	日本	かながわ国際交流財団	2012. 02. 04 ~ 2012. 02. 05	地域の文化の重要な拠点であるミュージアムの課題と将来に向けての展望を、ミュージアムの実務者を中心に文化政策担当者、市民グループ、企業関係者、研究者、マスメディア関係者など多様な関係者が議論
71	東京外国語大学留学生日本語教育センター附属日本語学校と教材開発センター統合20周年記念企画国際シンポジウム	日本	東京外国語大学留学生日本語教育センター	2012. 03. 02	附属日本語学校と教材開発センターの統合20周年を節目として、今後の教育研究開発について考え、語り合い、より深い研究へ掘り下げていく機会とするために、「これからの教材開発・教育リソース研究を考える」をテーマにシンポジウムを開催

情報センター事業費

	事業名	実施国	申請者	期間	事業内容
72	マクヴェイン没後百周年記念国際シンポジウム「工部省測量司長マクヴェインと明治初期日本」	日本	豊橋技術科学大学大学院	2012. 02. 18	コリン・アレクサンダー・マクヴェインはスコットランド出身の土木技術者で、幕府に雇われ、燈台建設に従事し、明治維新後、工部省の立ち上げに尽力したお雇い外国人。同氏は、業務と生活の様子を日記や写真などに詳細に記録。今回、イギリス人を含む関連分野研究者が集まり、同氏の業績を検証、顕彰するとともに、今後、貴重な同氏の記録資料の一層の学術的解明を促進することを目的に国際シンポジウムを開催
73	第8回日本語学校合同スピーチ大会	日本	第8回日本語学校合同スピーチ大会実行委員会	2012. 02. 10	東京の日本語学校8校が共同で実施する日本語スピーチ大会の第8回大会(2005年開始)。参加8校の学生が構成する学生実行委員会が企画運営し、学校間交流に加えて、企業等の各界との交流も実施
74	第8回クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま	日本	クールシュヴェール国際音楽アカデミーinかさま実行委員会	2012. 03. 16 ~ 2012. 03. 20	フランスで毎年開催される世界国有数の音楽家によるアカデミー「クールシュヴェール夏季国際音楽アカデミー」のカリキュラムに従って、国際的に活躍する音楽家を育成することを目指し、ヴァイオリンとピアノのマスタークラスを開催
75	第27回北方圏国際シンポジウムーオホーツク海と流氷ー	日本	北方圏国際シンポジウム実行委員会	2012. 02. 19 ~ 2012. 02. 24	流氷と氷海に関わりを持つ全ての分野での研究技術情報の交換や海洋環境の保全を目的とした研究発表、オホーツク海に接する北方民族文化に焦点を当て、オホーツク海文化圏における豊かで個性的な生活・文化の構築を目指しシンポジウムを開催
76	日豪経済委員会50周年記念懸賞論文	日本	日豪経済委員会	2012. 02. 21 ~ 2012. 10. 10	日豪関係をテーマとした懸賞論文を募集することにより、日豪両国関係の重要性についての認識を高め、今後の日豪関係のあるべき姿を考える契機とする趣旨で、論文テーマ「これからの日豪関係を考える」を募集。日豪経済委員会会長賞、審査委員長賞各1名の入賞者を2012年10月初旬にシドニーで開催される表彰式において表彰
77	シンポジウム「未来を生き抜くための外国語教育に挑む」一つながりを実現するアクションプランー	日本	国際文化フォーラム	2012. 03. 03	多様なことばや文化的背景をもつ人びとが共生し協働するグローバル社会自体の担い手育成の要として外国語教育を位置づけ、そのあり方を見直すとともに、その意義と使命をアピールし、さまざまなつながりを実現する新たな外国語教育の方策と行動計画を参加者とともに考えるシンポジウムを開催
78	第24回アジア太平洋子ども会議・イン福岡	日本	アジア・太平洋子ども会議イン福岡実行委員会	2012. 03. 25 ~ 2012. 03. 31	アジア・太平洋諸国、地域の相互理解を促進するため、日本の子供たちを海外に派遣し、現地でホームステイや学校訪問などを実施。また、アジア・太平洋各地から子ども大使を招へいし、日本でホームステイや学校登校、交流キャンプなどを実施
79	言語文化教育研究会シリーズ研究会第10回研究集会	日本	言語文化教育研究会	2012. 03. 02	言語文化教育研究会シリーズ研究会研究集会第10回の記念としてフランスにおいて開催するもので、ヨーロッパの言語教育関係者に広く声をかけ、「言語教育とアイデンティティ」をテーマに議論